

あなたと本が出会う場所 ～みんな図書館へ行こう～

ファミリーセンター2階
☎43-0390

開館時間：午前10時～午後6時
休館日：毎週月曜日・第3日曜日・年末年始
貸出は1人3冊まで。2週間借りられます。

新着図書は八百津町ホームページにて
紹介中です！！

<http://www.town.yaotsu.lg.jp>

★新着図書情報



おすすめ図書の紹介

こんなにいます！岐阜県出身の作家特集！

八百津町出身の池井戸潤さんのことは、みなさん良くご存じかと思いますが、調べてみると、他にも岐阜県出身の作家がたくさんいます。代表作を紹介します。ぜひ一度、手に取ってみてください。

○奥田英朗さん 岐阜市出身。「空中ブランコ」で、第131回直木賞を受賞。

空中ブランコ 奥田英朗／作 文藝春秋

ジャンプがうまくいかないサーカス団の空中ブランコ乗り、先端恐怖症のヤクザなど、今日も悩める患者たちが訪れる、精神科医・伊良部。この男、泣く子も黙るトンデモ精神科医か、はたまた病める者は癒やされる名医か！？シリーズ第2弾。



○沖方丁さん 各務原市出身。「天地明察」で吉川英治文学新人賞、本屋大賞など、多数受賞。

天地明察 沖方丁／作 角川書店

江戸、四代将軍徳川家綱の御代、「日本独自の太陰暦」を作りあげる。前代未聞の大事業に生涯を賭けた男がいた。碁打ちにして数学者・渋川春海の二十年にわたる奮闘・挫折・喜び、そして恋。みずみずしくも重厚に描く、傑作時代小説です。



○中山七里さん 「さよならドビュッシー」で、第8回このミステリーがすごい！大賞を受賞。どんでん返しの帝王、と呼ばれている。

さよならドビュッシー 中山七里／作 宝島社

ドビュッシーの調べにのせて贈る音楽ミステリー。ピアニストを目指す遙は祖父と従姉妹と火事に遭い、ひとりだけ生き残ったものの大火傷を負う。それでもピアニストになることを誓い、猛練習に励むが、周囲で不吉な出来事が次々と起こる…。



平成27年、1番多く借りられた本 ～あなたは読みましたか？～

(八百津町中央図書館調べ、平成27年1月～12月の期間)



子供向け

がっこうのおばけずかん

斉藤洋／作 宮本えつよし／絵 講談社

がっこうには、こわーいおばけがいっぱい。でも、このおはなしをよめば、だいじょうぶ！こわいけどおもしろい！おばけずかんシリーズ。

一般向け

銀翼のイカロス

池井戸潤／著 ダイヤモンド社

半沢直樹シリーズ第4弾。頭取命令で経営再建中の帝国航空を任された半沢は、500億円もの債権放棄を要求する政府の再生タスクフォースと激突する。シリーズ最大の倍返し！

